

2022年7月26日

報道関係各位

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会

緑を活かす、これからのまちづくりに欠かせないファクター“グリーンインフラ”をテーマに  
多彩な有識者・実践者を招き、まちづくりの未来についてトークセッションを開催

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 シンポジウム

# FACE 2022 対面すれば、生まれる未来。

2022年8月9日（火）  
14時00分～17時15分 ※オンライン開催

大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体<sup>\*1</sup>の1つである一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会は、東京都心部にあるビジネスの中心地、**大手町・丸の内・有楽町（大丸有）地区の未来のまちづくり**について、様々な領域から多彩な有識者、専門家、実践者の方々をお招きし、都市の課題について深く議論し、展望を共有するシンポジウム「FACE 2022 対面すれば、生まれる未来。」を8月9日（火）に実施。トークセッションの様子をオンラインにて無料配信いたします。

当協議会の設立30周年を記念して2019年よりスタートし、今回で4回目となる本シンポジウムの今年のテーマは「グリーンインフラ」です。自然や生態系の持つ力を活かした“グリーンインフラ”の活用は、人々の快適な都市生活に欠かせないまちづくりのファクターです。本シンポジウムでは大丸有地区が他に先駆けて取り組んでいる“グリーンインフラ”によるまちづくりと、その未来について議論します。

トークセッションは2部構成でお届けします。

**第1部**は「グリーンインフラを活用した大丸有の未来」と題して、様々な領域からパネリストをお招きし、2022年5月に当協議会が策定した「[大手町・丸の内・有楽町地区 グリーンインフラ推進基本方針](#)」をご紹介します。今後の大丸有地区におけるグリーンインフラの展望について考えます。

**第2部**では「実践者が語る！グリーンインフラの魅力と可能性」をテーマに、既に実行されている“グリーンインフラ”の様々な取組みに最前線で挑戦し続けている実践者による“グリーンインフラ”の事例と将来への可能性をご紹介します。



本件に関しましてご取材も可能です。ご希望の方はリリース末尾のお問い合わせ先までご連絡ください。

## イベント概要

- 【名称】 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会シンポジウム  
「FACE 2022 対面すれば、生まれる未来。」
- 【内容】 大丸有地区の「これからのまちづくり」をテーマに、都市の課題を抽出し未来に向けた議論を行うシンポジウムです。本年は「グリーンインフラ」に焦点をあてて開催します。
- 【開催日時】 **2022年8月9日(火) 14時00分～17時15分** (休憩：15:30～15:45)
- 【主催】 一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会
- 【協力】 3×3 Lab Future
- 【開催方法】 一般募集 オンライン無料配信
- 【申込】 事前申込制 ※参加費無料  
FACE専用ホームページにて申込受付中 <https://face-omy.jp/>

## プログラム

### 第1部 14時00分～15時30分

#### グリーンインフラを活用した大丸有の未来

近年、気候変動による災害リスクの増加、人口減少や少子高齢化を見据えた社会への移行、ポストコロナの社会ニーズへの対応など、大手町・丸の内・有楽町地区を含む都市のあり方は、大きな変化点を迎えています。

そんな中、当協議会では今後も持続的で柔軟な都市を目指すために、自然環境が有する多様な機能を活用する“グリーンインフラ”を、当地区としてどのように考え、向き合い、活用することが効果的かという検討を重ね、2022年5月に「大手町・丸の内・有楽町地区 グリーンインフラ推進基本方針」を策定しました。

第1部では、様々な分野のパネリストをお招きし、本方針を踏まえた当地区の今後の展望について考えます。

- 【登壇者】 岸井 隆幸 氏 (NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会理事長) ※モデレーター  
石田 東生 氏 (筑波大学 名誉教授)  
横張 真 氏 (東京大学大学院 工学系研究科都市工学専攻教授/総長特別補佐)  
佐藤 伸朗 氏 (公益財団法人 東京都公園協会理事長)  
藤田 文彦 氏 (一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり協議会 都市整備部会副会長)

### 第2部 15時45分～17時15分

#### 実践者が語る！グリーンインフラの魅力と可能性

大手町・丸の内・有楽町地区においては、巨額な投資で広大な緑地や森をつくることだけではなく、既存のインフラの柔軟な活用や、ソフト事業における取組みも含めて“グリーンインフラ”として捉えております。

第2部では、様々な“グリーンインフラ”の取組みに最前線で挑戦し続けている実践者だからこそ気づく“グリーンインフラ”の魅力や可能性をご紹介します。

また、実践事例を通じて見えてくるマネタイズ・制度・担い手といった課題を踏まえて、サステナブルな推進方法について考えます。

- 【登壇者】 北栄 階一 氏 (株式会社 日本政策投資銀行 ストラクチャードファイナンス部課長) ※モデレーター  
木田 幸男 氏 (株式会社 東邦レオホールディングス専務取締役 一般社団法人 グリーンインフラ総研代表理事)  
中 裕樹 氏 (森ビル 株式会社 タウンマネジメント事業部 パークマネジメント推進部チームリーダー)  
関口 洋佑 氏 (東京建物 株式会社 ビルマネジメント第一部主任)  
中嶋 美年子 氏 (NPO 法人 大丸有エリアマネジメント協会)

## \*1大手町・丸の内・有楽町地区まちづくり3団体について

大丸有地区は、公民協調によるサステイナブル・ディベロップメントを通じて、約120haのまち全域で「新しい価値」「魅力と賑わい」の創造に取り組んでいます。

大丸有まちづくり協議会を中心に公民でまちの将来像を合意し、リガールが賑わいや都市観光を促進、エコツェリア協会が社会課題の解決や企業連携によるビジネス創発を具体化しています。

一般社団法人 大手町・丸の内・有楽町地区  
まちづくり協議会 (大丸有まちづくり協議会)

再開発・街づくり・地権者合意形成

大丸有地区の地権者を会員とし、エリアの付加価値を高め、  
東京の都心において持続的な発展に向けた取り組みを行っています。



一般社団法人 大丸有環境共生型  
まちづくり推進協会 (エコツェリア協会)

サステナビリティ/Research & Development/環境共生

「経済」「環境」「社会」がバランスよく共存するまちを目指して、  
大丸有地区に集う企業・就業者のコミュニティ形成や、  
次世代への持続可能なビジネス創発に取り組んでいます。

NPO法人 大丸有エリアマネジメント協会  
(リガール)

エリアマネジメント運営

道路を始めとした公的空間の活用や、交流・環境などの活動を通じて、  
大丸有地区のブランド向上に取り組んでいます。

## 本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先

大手町・丸の内・有楽町地区街づくりPR事務局 共同ピーアール(株)PRアカウント本部9部 担当：内山・前山・高橋  
TEL：070-4303-7327/070-4303-7311 FAX：03-6260-6653  
E-mail：[tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp](mailto:tokyo-omy-pr@kyodo-pr.co.jp)

本資料は本日付で国土交通記者会・国土交通省建設専門紙記者会へお届けしています。